

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 硝酸二アンモニウムセリウム(IV)

会社情報

会社名 : 関東化学株式会社

住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1

担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課

電話番号 : (0120)260-489

FAX番号 : (03)3241-1047

メールアドレス : BC32@kanto.co.jp

整理番号 : 07165

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理的危険性	酸化性固体	区分 2
健康有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 1

#### 絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 火災助長のおそれ: 酸化性物質  
 飲み込むと有害  
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 衣類及び可燃物から遠ざけること。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 : 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

- 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
 皮膚を水で洗うこと。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 漏出物を回収すること。
- 保管: 施錠して保管すること。
- 廃棄: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 物質  
 別名: 硝酸アンモニウムセリウム(IV)、硝酸セリウム(IV)アンモニウム(硝酸第二セリウムアンモニウム)、CAN

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
硝酸二アンモニウムセリウム(IV)	≥ 95	CeH8N8O18	1-395, 1-626	既存化学物質	16774-21-3

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 吸入した場合: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合: 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合: 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理にはかかせてはならない。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤: 特になし
- 火災危険性: 可燃性材料との接触すると火災を起すことがある。
- 消火方法: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策 : 有機物、可燃物と接触させない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。  
酸化性物質であるため、有機物などと接触しないように取扱う。

### 保管

安全な保管条件 : 容器は密栓して冷蔵保存する (0-6℃)。  
可燃物と隔離して貯蔵する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ふっ素樹脂。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

### 保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

色 : 橙色

臭い : 無臭

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度	: 214 ° C
可燃性	: 不燃性
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 2.49 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 有機溶媒: 硫酸、硝酸、過塩素酸、塩酸に可溶。 水: 1.41 g/mL (25°C)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率:	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 酸化性を有する。
化学的安定性	: 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性	: 可燃性物質や還元性物質と接触すると発火または爆発することがある。
避けるべき条件	: 日光、熱、水分。
混触危険物質	: 可燃性物質、還元性物質。
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物、酸化セリウム。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 飲み込むと有害 ラット LD50=300 - 2000mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷 ウサギを用いた皮膚刺激性試験で壊死が認められたため、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷 ウサギを用いた眼刺激性試験で壊死が認められたため、区分1とした。
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ モルモットを用いたマキシマイゼーション試験において陽性であったため、区分1とした。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない 気道を刺激する可能性がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に非常に強い毒性 魚類(ニジマス) LC50=0.53mg/L/96h
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

## 残留性・分解性

追加情報なし

## 生体蓄積性

低濃縮性

BCF : 16

## 土壤中の移動性

追加情報なし

## オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、pH を中性に調整し処理する。不溶物はろ過して埋め立て処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG) : 1477  
正式品名 (IMDG) : NITRATES, INORGANIC, N. O. S.  
容器等級 (IMDG) : II  
輸送危険物分類 (IMDG) : 5.1

#### 航空輸送 (IATA)

国連番号 (IATA) : 1477  
正式品名 (IATA) : Nitrates, inorganic, n. o. s.  
容器等級 (IATA) : II  
輸送危険物分類 (IATA) : 5.1

海洋汚染物質 : 該当

### 国内規制

陸上規制 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。  
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
その他の情報 : 補足情報なし  
緊急時応急措置指針番号 : 140

## 15. 適用法令

### 国内法令

労働安全衛生法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
水質汚濁防止法 : 有害物質 (法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)  
消防法 : 第1類酸化性固体、硝酸塩類 (法第2条第7項危険物別表第1・第1類) 第一種酸化性固体 (危険物令第1条の1 1別表第3)  
船舶安全法 : 酸化性物質類・酸化性物質 (危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

---

航空法	: 酸化性物質類・酸化性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	: その他の危険物・酸化性物質類（酸化性物質）（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当（2023年4月1日以降、第1種指定化学物質） セリウム及びその化合物（管理番号:665）セリウムとして（26%）

## 16. その他の情報

参考文献	: NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）、独立行政法人製品評価技術基盤機構。 ECHA（欧州化学機関）。
------	--

\*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を対としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しております。